



# 自己免疫疾患モデルを用いた 発症機序の解明と治療戦略



石丸 直澄 先生

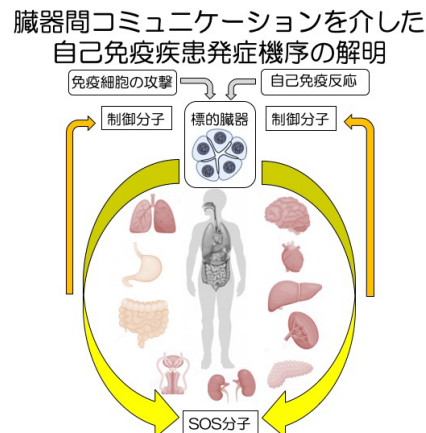
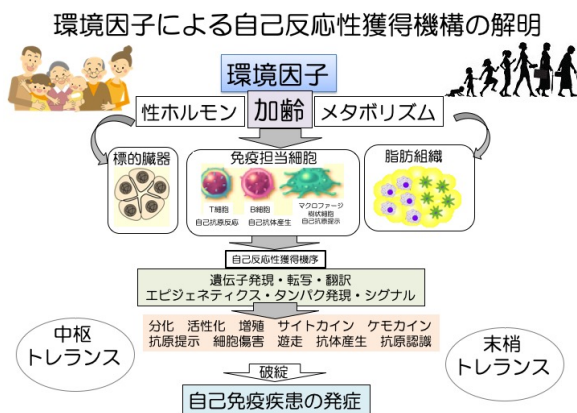
徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔分子病態学分野 教授

日時: 2021年1月28日 (木) 14:00～ ZOOM開催

(ミーティングID: 825 5039 0281、パスコード: mn8Xj6)

ウイルスや細菌といった外来性病原体から生体を防御している免疫システムは、決して自分自身の組織を攻撃することはないと言われていました。しかしながら、様々な原因で免疫システムに異常が生じると、自身の体を自身の免疫システムによって攻撃してしまう「自己免疫疾患」が発症してしまいます。この度、自己免疫疾患の一つであるシェーグレン症候群の疾患モデルを用いて病態機序に関する数々の成果を報告されている徳島大学の石丸直澄先生をお招きすることとなりました。

本公演では、加齢に伴うホルモン環境の変化やメタボリックシンドロームを代表とする環境因子によって引き起こされる自己反応性獲得のメカニズムについて解説していただきます。さらに、自己免疫疾患の病因に基づいた新たな診断法・治療法の開発戦略について、最新の研究成果をまじえて紹介していただきます。奮ってご参加ください。



問い合わせ先: 松井 誠 内線5225